

奨学金制度

立命館大学では、学生が安心して学生生活を送り、一人一人の学修・学生生活の目標にチャレンジできるよう、独自の奨学金システムを設けています。正課授業・課外自主活動を問わず、大学とキャンパス内外で行われる学生の多様な学びを学修と位置づけ、学生が主体的・能動的に学ぶことを支援します。

本学独自の奨学金は、経済的に困難な状況のなかでも学び成長したいと願う学生の学修・学生生活をサポートする「経済支援型奨学金」と、学修・留学・課外自主活動など学生が目標にチャレンジし、成長していくことをサポートする「成長支援型奨学金」があり、全国トップレベルの実績を持っています。

本学独自の奨学金のほか、日本学生支援機構、民間財団奨学金、地方公共団体奨学金など学外資金による奨学金も多数の学生が利用しています。

※各奨学金については、2025年度の奨学金制度となります。2026年度は内容が変更となる場合があります。

奨学金の種類	お問い合わせ先	WEBサイト
遠距離入学者支援 経済支援 (本学独自および国や外部機関) 正課外自主活動成長支援	学生オフィス (土・日曜・祝日を除く 9:30~11:30、12:30~17:00 火曜のみ12:30~17:00) OIC : 072-665-2135 BKC : 077-561-2854	衣笠 : 075-465-8168 WEBサイト https://www.ritsumei.ac.jp/scholarship/
正課成長支援	各学部事務室	各種問い合わせ窓口 https://www.ritsumei.ac.jp/inquiry/
海外留学支援	国際教育センター	
難関試験合格者支援	キャリアセンター (エクステンションセンター)	 

※出願基準や出願時期・出願方法は奨学金ごとに異なります。詳細については、必ず募集要項を確認してください(上記本学奨学金WEBサイト参照)。

日本学生支援機構 給付奨学金 および 立命館大学学費減免

本奨学金制度は、2020年4月より開始された国の高等教育修学支援新制度に基づく支援であり、給付奨学金と入学金・授業料が減免になる制度です。

制度変更される場合がありますので、日本学生支援機構のWebサイトで最新の情報を確認してください。

※以下掲載内容は2025年2月時点の情報です。内容は変更になる場合があります。

日本学生支援機構 給付奨学金			
給付額 (年額)	第Ⅰ区分:自宅外 約91万円・自宅 約46万円 第Ⅱ区分:自宅外 約61万円・自宅 約31万円 第Ⅲ区分:自宅外 約30万円・自宅 約15万円 第Ⅳ区分(多子世帯):自宅外 約23万円・自宅 約11万円	採用数	家計・学力基準を満たす者は全員採用 (毎年度継続審査あり) 非課税世帯を第Ⅰ区分、それに準ずる世帯を第Ⅱ~Ⅳ区分(第Ⅳ区分は多子世帯のみ)とし、日本学生支援機構が認定します。
			家計基準*
			非課税世帯を第Ⅰ区分、それに準ずる世帯を第Ⅱ~Ⅳ区分(第Ⅳ区分は理工系学部と多子世帯のみ)、扶養する子どもが3人以上かつ大学に通っている場合は多子世帯とし、日本学生支援機構が認定します。第Ⅰ~Ⅲ区分に該当せず、年間給与収入400万円以下の世帯を大学独自区分として認定します。
			※家計基準による区分の認定については、日本学生支援機構WEBサイトを参照ください。※家計が急変した場合、給付奨学金(家計急変)として出願できる場合があります。

※家計基準による区分の認定については、日本学生支援機構WEBサイトを参照ください。※家計が急変した場合、給付奨学金(家計急変)として出願できる場合があります。

立命館大学学費減免(国)の授業料等減免制度に本学の支援をあわせた制度				
給付額 (年額)	第Ⅰ区分・第Ⅱ区分(多子世帯):70万円 または 授業料1/2の金額の大きい方を採用 第Ⅲ区分:約46万円 または 授業料1/4の金額の大きい方を採用 第Ⅳ区分(理工系農系):約23万円(理工・生命科学・情報理工・映像学部のみ適用) 第Ⅱ~Ⅳ区分(多子世帯):70万円 大学独自区分:授業料1/4の金額 *入学金は、第Ⅰ区分・多子世帯20万円、第Ⅱ区分約14万円、第Ⅲ区分約7万円、第Ⅳ区分約5~7万円を減免	採用数	家計・学力基準を満たす者は全員採用 (毎年度継続審査あり)	家計基準
				非課税世帯を第Ⅰ区分、それに準ずる世帯を第Ⅱ~Ⅳ区分(第Ⅳ区分は理工系学部と多子世帯のみ)、扶養する子どもが3人以上かつ大学に通っている場合は多子世帯とし、日本学生支援機構が認定します。第Ⅰ~Ⅲ区分に該当せず、年間給与収入400万円以下の世帯を大学独自区分として認定します。
				※詳細は、2025年9月頃(予定)に立命館大学入試情報サイトの「学費・奨学金」ページでお知らせします。
				[文系学部] 法・産業社会・国際関係・文・経営・政策科学・総合心理・経済・スポーツ健康科学・食マネジメント [理系学部] 情報理工・理工・生命科学・薬

立命館大学独自の奨学金制度

近畿圏外からの入学者を支援する奨学金 (2026年度入試受験生対象)>一般選抜の受験前に出願し、採用の可否が決定				
給付額	文系学部(映像学部除く):年額30万円 理系学部・映像学部:年額50万円	採用数	400名程度	①近畿圏(京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県)外から本学へ進学を希望する者。 ②2026年度一般選抜を受験する者。 *詳細は、2025年9月頃(予定)に立命館大学入試情報サイトの「学費・奨学金」ページでお知らせします。

[文系学部] 法・産業社会・国際関係・文・経営・政策科学・総合心理・経済・スポーツ健康科学・食マネジメント [理系学部] 情報理工・理工・生命科学・薬

立命館大学計急変学費減免(入学予定者および学部在学生対象)				
給付額	年間授業料の1/4	採用数	基準を満たす者は全員採用	生計維持者が死亡、重度後遺障害、自然災害による居住家屋の被災(半壊以上)および生計維持者の長期入院や加療のあった者。
父母教育後援会計急変奨学金				
給付額	授業料相当額を採用から修業年限まで	採用数	基準を満たす者は全員採用	入学後・在学中に学生の学費負担者(父母等)が、死亡、重度後遺障害により就労不能となつた者。
父母教育後援会災害支援奨学金				
給付額	2学期分授業料相当額	採用数	基準を満たす者は全員採用	入学後・在学中に学生の学費負担者(父母等)の居住する家屋が、自然災害により被害(半壊、床上浸水等)および長期加療を要する重症の人的傷害を受けた者。

西園寺記念奨学金(難関試験合格者枠)				
給付額	30万円	採用数	70名程度	公認会計士、国家公務員総合職など大学が指定する難関試験を目指し合格した者。

出願多数の場合、選考があります。本奨学金の内容は2024年度時点の募集内容となりますので、今後変更される場合があります。出願資格等、必ず当該年度の募集要項で詳細を確認してください。

3 正課成長支援

西園寺記念奨学金(成績優秀者枠)				
給付額	[文系(映像学部・グローバル教養学部を除く)学部] 1学期あたり15万円 [理系学部および映像学部・グローバル教養学部] 1学期あたり30万円	採用数	各学部の定員の2%以内	学部での学修を究め、成績優秀な者。
+R学部奨学金				
給付額	次のいずれか 15万円、14万円、13万円、12万円、11万円、 10万円、9万円、8万円、7万円、6万円、5万円、 4万円、3万円、2万円、1万円	採用数	予算の範囲で学部長が定める	所属する学部の教学の取組において優れた成果を挙げた者。
学びのコミュニティ学外活動奨励奨学金(正課授業)				
給付額	授業での調査、コンペティション参加などの学習活動に要する費用の一部相当額を奨学金として給付			授業(セミナーなど)を基盤とした国内外での調査活動や学会報告・国内外大学・諸機関との交流などの学習活動に積極的に取り組む者。

4 海外留学支援

海外留学チャレンジ奨学金 海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する制度				
派遣期間が2ヵ月以下の海外留学プログラム ^{*1}	2ヵ月以下		1万円~10万円	参加費の金額に応じて奨学金を支給(参加費5万円以上のプログラムが対象)。
派遣期間が2ヵ月を超える、学籍上「留学」となる海外留学プログラム ^{*1~2}	半年間~1年間		20万円~60万円	日本学生支援機構(JASSO)が定める地域区分に準じる。
交換留学、立命館アジア太平洋大学への国内交流派遣	半年間~2年間		15万円~60万円	
アメリカン大学・立命館大学ジョイント・ディグリー・プログラム(JDP) ^{*3}	2年間		200万円	受給条件等について、学部事務室にて確認してください。
学部共同学位プログラム(DUDP) ^{*4}	2年間		240万円	—

原則、本奨学金の支給対象プログラムの参加者全員が支給対象となります。ただし、本奨学金の支給にあたっては、併給にかかる条件等がありますので、ご留意ください。

本奨学金の内容は2024年度時点の内容となりますので、今後変更される場合があります。必ず当該年度の募集要項で詳細を確認してください。

また、記載の内容は、現地への渡航を前提とした海外留学プログラムの場合となります。予定されていた海外留学プログラムが催行中止となった場合やプログラム内容が変更された場合は、支給の有無、支給金額等が変更となりますので、予めご了承ください。

*1 海外でのインターンシップを含みます。

*2 交換留学、立命館アジア太平洋大学への国内交流派遣、アメリカン大学・立命館大学ジョイント・ディグリー・プログラム、学部共同学位プログラムを除きます。

*3 JDP 参加者への奨学金は、計4回に分けて支給します(給付上限額50万円/1回)。

*4 DUDP 参加者への奨学金は、計3回に分けて支給します(給付上限額80万円/1回)。

海外留学サポート奨学金(予約採用型・家計急変型) 海外留学プログラムへの参加または参加継続が困難であることが見込まれる者を支援する制度				
交換留学(DUDP含む)	半年間~2年間		10万円~100万円	日本学生支援機構(JASSO)が定める地域区分に準じる。
派遣期間が2ヵ月を超える、学籍上「留学」となる海外留学プログラム(上記以外)	半年間~1年間		20万円~40万円	

本奨学金の内容は2024年度時点の内容となりますので、今後変更される場合があります。必ず当該年度の募集要項で詳細を確認してください。

また、記載の内容は、現地への渡航を前提とした海外留学プログラムの場合となります。予定されていた海外留学プログラムが催行中止となった場合やプログラム内容が変更された場合は、支給の有無、支給金額等が変更となりますので、予めご了承ください。

国や外部機関の奨学金

経済的理由により入学・修学が困難な学生を支援するため、大学独自の奨学金以外にも日本学生支援機構奨学金など、国や外部機関の奨学金の申し込みも受け付けています。

※以下掲載内容は2025年4月時点での情報です。内容は変更になる場合があります。

日本学生支援機構貸与奨学金（第一種・無利子）*					貸与型
貸与額 (月額)	自宅生： 2万円、3万円、4万円、5.4万円 自宅外生： 2万円、3万円、4万円、5万円、5.4万円、6.4万円 *月額5.4万円、6.4万円は、別途家計基準を満たす必要あり。	貸与期間	原則として 修業年限の終期 *毎年度継続審査有り	日本学生支援機構の定める「学力 に関する基準」と「家計に関する基 準」の両方を満たしている者。	
日本学生支援機構貸与奨学金（第二種・有利子）*					
貸与額 (月額)	2万円～12万円（1万円単位）から選択。 薬学部のみ14万円も選択可。	貸与期間	原則として 修業年限の終期 *毎年度継続審査有り	日本学生支援機構の定める「学力 に関する基準」と「家計に関する基 準」の両方を満たしている者。ただし、新入生の「奨学金（第二種）」の 学力基準については、本学入学をもって基準を満たすものとする。	

*生計維持者の死亡・病気・離婚・失業・倒産・定年退職・自己都合退職等の理由で家計が急変した場合、緊急採用枠（第一種・無利子）または応急採用枠（第二種・有利子）として出願が可能です。いずれも急変発生時から1年以内に出願を完了することが必要です。

民間財団奨学金【学校推薦群】*			給付型、一部給付貸与併用型
給付額	財団により異なる。 (奨学金Webサイト参照)	立命館大学を代表する奨学生として相応しい（学業成績優秀、品行方正）者でありながら、経済的理由で修学が困難な者。奨学生に採用後、各財団が求める交流会、研修会に必ず参加できる者。家計基準・学業基準あり。学内での選考を経て、各財団に推薦。	

*学校推薦群とは別に、民間財団奨学金【一般公募群】（給付型・貸与型）および地方公共団体（貸与型中心）の奨学金もあります。

保護者が学費などの支払いのために利用できる低金利の教育ローン

申込方法、支払い条件などは、それぞれの金融機関へ直接お問い合わせください。

日本政策金融公庫 「国の教育ローン」	三井住友カード 「C-Web学費ローン」	オリコ 「学費サポートプラン」	滋賀銀行 「スピードローン ジャストサポート」 (提携型)
政府系金融機関の 教育ローン	低金利ローンで 学費納入をバックアップ	低金利ローンで 学費納入をバックアップ	低金利の 銀行教育ローン
入学する際には、まとまった資金が必要です。随時申し込み可能ですが、受験前から事前に申し込んでおき、合格と同時に融資を受け、入学手続きに必要な資金を借りることができます。	立命館大学と三井住友カード株式会社（以下三井住友）との提携により、学費などの本学への納付金を三井住友が利用者に代わり本学へ立替下さい。利用者は三井住友へ分割で返済する制度を導入しています。	立命館大学と株式会社オリエントコーポレーション（以下オリコ）との提携により、本学への納付金やその他にかかる費用（仕送り資金、住居費用、留学費用など）についても幅広く対応しています。	立命館大学と株式会社滋賀銀行との提携により、本学への納付金やその他にかかる費用（仕送り資金、住居費用、留学費用など）についても幅広く対応しています。
融資利率:2.95% (2025年4月現在)	分割手数料(実質年率):2.50% (2025年4月現在)	分割手数料(実質年率):3.00% (2025年4月現在)	年利(変動金利):2.50%または3.30% (2025年4月現在)
教育ローン専用ダイヤル 0570-008656	カスタマーセンター 050-3827-0375	オリコ学費サポートデスク 0120-517-325	滋賀銀行クレジットセンター 0120-889-201
WEBサイト https://www.jfc.go.jp/	WEBサイト https://www.cedyna.co.jp/loan/alliance/tuition/	WEBサイト https://www.orico.tv/gakuhi/	WEBサイト https://mcl.sbk.jp/l/teikei/pc/
			

〈参考〉2025年度入学者 学費

入学年度を基準とした、在学期間学費明示方式（入学時点での在学期間の学費を明示）および一定方式（入学から卒業までの各回生の学費は、一部を除き同額）を基本とします。
本学の学費は入学金と授業料で構成されています。

（単位／円）

学部	学科等	1回生			2回生以降		
		入学金	春学期授業料	秋学期授業料	年間計	春学期授業料	秋学期授業料
法学部	子ども社会専攻	200,000	543,500	543,500	1,287,000	543,500	543,500
産業社会学部	上記専攻以外 ^{※1}	200,000	673,500	673,500	1,547,000	673,500	673,500
国際関係学部 ^{※2}	国際関係学科	200,000	699,400	699,400	1,598,800	699,400	699,400
地域研究学域	人間研究学域教育人間学専攻、日本史研究学域考古学・文化遺産専攻	200,000	633,300	633,300	1,466,600	633,300	633,300
文学部 ^{※3}	上記学域・専攻以外 ^{※4}	200,000	621,800	621,800	1,443,600	621,800	621,800
経営学部	国際経営学科	200,000	610,700	610,700	1,421,400	610,700	610,700
政策科学部	経営学科	200,000	543,500	543,500	1,287,000	543,500	543,500
総合心理学部		200,000	647,100	647,100	1,494,200	647,100	647,100
グローバル教養学部 ^{※5}		200,000	666,900	666,900	1,533,800	666,900	666,900
映像学部		200,000	1,150,000	1,150,000	2,500,000	1,150,000	1,150,000
経済学部		200,000	561,800	561,800	1,323,600	561,800	561,800
スポーツ健康科学部		200,000	688,500	688,500	1,577,000	688,500	688,500
食マネジメント学部		200,000	672,100	672,100	1,544,200	672,100	672,100
情報理工学部		200,000	860,700	860,700	1,921,400	860,700	860,700
理工学部	数理科学科	200,000	830,400	830,400	1,860,800	830,400	830,400
	上記学科以外 ^{※6}	200,000	860,700	860,700	1,921,400	860,700	860,700
生命科学部		200,000	877,200	877,200	1,954,400	877,200	877,200
薬学部	薬学科（6年制）	200,000	998,400	1,198,400	2,396,800	1,198,400	1,198,400
	創薬科学科（4年制）	200,000	988,300	988,300	2,176,600	988,300	988,300

※1 現代社会専攻、メディア社会専攻、スポーツ社会専攻および人間福祉専攻

※2 アメリカン大学・立命館大学国際連携学科は除く。

※3 文部省では、2回生進級時に専攻を選択します。

※4 人間研究学域哲學・倫理学専攻、日本文學研究学域・東アジア研究学域、国際文化学域、国際コミュニケーション学域および言語コミュニケーション学域

※5 デュアル・ディグリー・プログラムの履修に際し、オーストラリア国立大学（以下、ANU）が実施する授業について、授業料の別徴収は行いません。ただし、日本およびオーストラリアでの授業に関する渡航費・宿費・生活費等は別途必要になります。

※6 物理科学科、電気電子工学科、電子情報工学科、機械工学科、ロボティクス学科、環境都市工学科および建築都市デザイン学科

（注）① 入学金は入学年度のみ納入してください。

② 薬学部薬学科は、初年度の負担ができるだけ低く抑えるため、1回生春学期授業料において新入生特別減免を行っています（上表の1回生春学期授業料は、減免後の金額を記載しています）。

③ 特定科目（教育実習等）の履修に際して、別途費用を徴収することがあります。

④ 社会的な要因により物価等が急騰し、その影響への対処として在学生を含めて学費改定を余儀なくされた場合には、緊急的な措置として学費改定を行うことがあります。

⑤ 学費の納入にあわせ、下記の諸会費も納入してください。

〈参考〉2025年度入学者 諸会費

学部	学友会	会員費		父母教育後援会	会員費	父母教育後援会	会員費	計
		入会金	年会費					
法学部		3,000	5,000	半年会費 3,500（年額 7,000）	5,000	10,000	30,000	
産業社会学部		3,000	5,000	半年会費 3,000（年額 6,000）	5,000	10,000	29,000	
国際関係学部		3,000	5,000	半年会費 4,000（年額 8,000）	5,000	10,000	31,000	
文学部		3,000	5,000	半年会費 3,000（年額 6,000）	5,000	10,000	29,000	
映像学部		3,000	5,000</					

安全で快適な学生生活を送るために

立命館大学の情報環境について

立命館大学では、eラーニングや情報教室の整備など、ITによる教育の高度化に取り組んでいます。大学生の学びには、受講科目の登録、課題の作成や提出、情報検索など、パソコンが欠かせません。学内には、学生が自由に利用できるパソコン環境を各キャンパスに整備しています。また、Wi-Fi環境を増強し、学修に必要なソフトウェアを自身のパソコンで使えるようにするなど、オンラインの受講環境も整えています。

情報環境の一例

- 授業や研究に必要なOfficeなどのソフトウェアを提供
- キャンパスの建物内では、Wi-Fiに接続可能
- キャンパス内で自身のパソコンやスマートフォンから印刷が可能
- 学内のITサービスに関するサポート窓口を設置



ICT-Lab. (OIC)

学生生活における困りごとの相談窓口

学生部には、学生生活の困りごとや課題などを相談できる4つの窓口(①学生サポートルーム②障害学生支援室③SSP④保健センター)があります。何を相談すればよいか分からない、どこで相談すればよいか分からない、相談をしてよいかどうか分からない場合は、学生オフィスの支援コーディネーターが、事情をお伺いのうえ、各種窓口の利用方法や相談の進め方をアドバイスすることができる「学生相談の総合案内」を設けています。また、学生部は、ダイバーシティ&インクルージョンの方針に基づいた運用を行っています。詳しくは、「学校法人立命館ダイバーシティ&インクルージョン」HPを確認してください。



SSP(Student Success Program)について

SSPは学生の皆さんのが自立した学び手として成長することを目標とし、学生一人一人のニーズや目的に合わせて支援を選択することができるよう、多様な学習支援を展開しています。具体的には、①ホームページや窓口、Campus Diary 等での支援ツールの配布、②対面やオンライン形式のセミナーによる集団支援、③先輩・仲間(SSP ピア・ソーター)による小集団支援、④SSPコーディネーターによるアセスメントや個別相談を行う個別支援で構成されています。

「学生教育研究災害障害保険」

正課授業中や課外自主活動中の事故などにより、万一ケガ等を負った場合に備えて、本学では学生全員を対象とした「学生教育研究災害障害保険」に加入しています(掛け金は大学が負担しています)。

保険金の対象となるもの

正課授業・大学行事中	実治療日数1日以上
キャンパス内のケガ	実治療日数4日以上
課外活動中 (学友会登録団体等)のケガ	実治療日数14日以上



体調が悪くても安心 併設診療所で保険診療も受けられます

学内で、ケガをした、気分が悪くなったなどの場合に、診療や応急処置を行う「保健センター」を衣笠・OIC・BKCに設置しています。医師や看護師が学生の皆さんの健康管理・サポートにあたるとともに、内科・精神科の診療を行っています。定期健康診断をはじめとした健康管理や実習支援、留学支援としてトラベルクリニックの対応なども行っています。

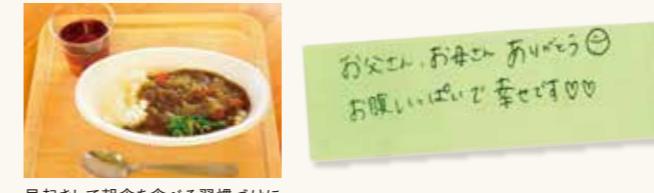
学部生を対象に、保険医療費の自己負担額を父母教育後援会が補助しています(要申請)。学生たちは安心して受診することができます。

父母教育後援会

父母教育後援会とは、在学生の保護者の皆さんと共に学生生活を支え、大学と保護者の皆さんをつなぐ組織です。全国各地から学生が集まる立命館大学では、親元を離れて暮らしている学生も多く、学業だけでなく生活面でもサポートしています。ここでは、活動の一部をご紹介します。

健康な学生生活は朝食から ~100円朝食の提供~

立命館大学では、各キャンパスに食堂があり、開講期間中、学生を対象として100円で朝食を提供しています。これは、朝食を食べることで生活リズムを整えてほしいという思いから、父母教育後援会の支援で始まりました。年間のべ約12万名の学生が利用しており、結果として図書館の早朝利用者が約3万名増えるなど教育面でも効果を上げています。



早起きして朝食を食べる習慣づけに役立っています。

キャンパスへのご招待

キャンパスで留学や就職などのテーマ別説明会、学部別の懇談会を実施(春のオープンカレッジ、6月)。秋の学園祭にもご招待します。



教職員が皆さまのもとへ

全国各地で父母交流会を開催。在校生や卒業生による貴重な体験談が聞け、大学の教職員に直接質問や相談ができる有意義な機会となっています。



京都などの歴史や文化を堪能

京都などにまつわるテーマごとにコースを設け、大学の教員の講座を受けた後、教員と共に名所・旧跡を巡ります。毎年、遠方から多数のご参加があります。



広がる立命館の輪「卒業生父母の会」

学生たちは大学を卒業すると約41万名の校友の一員となります。そのため、保護者の方々はご子女の卒業と同時に立命館大学とのつながりを持ちにくくなってしまいます。そのような中、多くの方から「子どもの卒業後も立命館大学の学生を応援したい」とのお声が寄せられ、卒業生父母の会を設立しました。卒業生父母の会に加入することで、保護者の皆さんも立命館ファミリーの一員としてつながり続けることができます。

父母教育後援会
<https://www.ritsumei-fubo.com/>

